

施策（14）子育てと仕事との両立に向けた環境づくり ～子どもも仕事も大事に生活～

1 現状・課題及び方向性

<現状・課題>

- 子育てを楽しみ、子どもの成長に喜びを感じるためには、保護者が男女を問わず子育てに向き合うことができる時間、親子で過ごす充実した時間を持てるよう環境の整備を行う必要があります。
- 本市の現状を見ると、「仕事と生活の調和が取れていると思う人の割合」は、年々上昇していますが、全体の5割程度にとどまっています（※1）。また、「仕事と子育ての両立で大変だと感じること」では、「急な残業が入ってしまう」、「子どもが病気のとき休みづらい」、「時間の余裕がない」と回答した割合が多くなっています（※2）。
- 子育て世代の長時間労働を解消し、子どもと向き合う時間を十分取れるよう、また子どもの病気など、生活上必要なときに休める職場環境づくりを進める必要があります。
- 家庭内の現状を見ると、父親が「家事をしている」が8割、「育児をしている」が9割の高い水準となっています。一方で、主に子育てをしているのが「父母ともに」と回答した割合は5割です（※1）。
家事・育児を全くやっていない父親は少なくなっていますが、「母親と同じくらいやっているか」という視点で見ると、さらなる改善の余地があると考えられます。
- 結婚、出産に関して、配偶者のいない人の約7割が「結婚したい」と答えていますが、そのうちの約6割が「異性と出会う場や交際する機会がない」、約4割が「異性とうまくつきあえない」と回答しています。また、出産に関しては、「赤ちゃんが誕生することに喜びを感じる」が約8割となっていますが、「不妊について不安や心配がある」が約2割、「なかなか子どもができない場合、不妊治療を受けたい」が4割を超えています（※2）。

<方向性>

- 引き続き、「ワーク・ライフ・バランス」「イクボス」等の取り組みを進め、企業に対する効果的な働きかけや広報活動を行っていきます。
- 男性の家事・育児などへの参画を促進するための取り組み、環境づくりを推進します。
- 結婚や出産は、個人の考え方や価値観に関わる問題ではありますが、職場環境を含めて、結婚したい人、出産したい人が、その希望をかなえられる仕組みづく

り、社会づくりを進めます。

※1 「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」成果指標（平成27～30年度）

※2 子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査（平成30年度）

2 施策の柱

①	事業者等との共同による仕事と生活の調和の推進 保護者が男女問わず子育てに向き合い、親子で充実した時間を持てるよう、「北九州市女性活躍・ワークライフバランス推進協議会」を中心に、長時間労働の抑制や年休の取得推進など、健康で豊かな生活に向けた働き方の見直しを働きかけていく。
②	男性の家事・育児への参画促進 男性の家事や子育てへの参画を進めるとともに、男女で協力しながら子育てしやすい環境づくりを進める。
③	結婚・妊娠・出産を希望する方への支援 結婚・妊娠・出産の希望がかなう地域社会の実現に向けて、社会全体で結婚や家族形成を希望する人を応援する取り組みを進める。

3 成果指標

仕事と生活の調和がとれていると思う人の割合	【増加】
父親が家事をしている割合	【増加】
主に子育てをしているのが「父母ともに」と回答した人の割合	【増加】
特定不妊治療の助成制度を知っている人の割合	【増加】

4 施策を推進する主な取り組み

柱① 事業者等との共同による仕事と生活の調和の推進

No	取り組み名 担当課	概要
178	北九州市女性活躍・ワークライフバランス推進協議会の運営 総務局・女性活躍推進課	全国に先駆けて、企業・働く人・市民・行政が一体となって設立した「北九州市女性活躍・ワークライフバランス推進協議会」を中心に、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進に取り組む。企業等の事業者や働く人が働き方やライフスタイルを見直し、男女が共に働きながら子育てしやすい環境づくりを推進するため、企業への取り組み支援や広報啓発事業を展開する。

179	女性活躍・ワーク ライフバランス表 彰の実施 <small>総務局・女性活躍推進課</small>	子育て支援や男女が共に働きやすい環境づくり等 に取り組む企業・個人等を表彰し、お手本としてその 内容を広く紹介することで、企業等事業者や市民が ワーク・ライフ・バランスに取り組むよう働きかけ る。
180	企業や地域等での ワーク・ライフ・バ ランスの取り組み 支援 <small>総務局・女性活躍推進課</small>	企業等の事業者に対して、仕事と子育て等との両 立への理解促進や働きやすい職場環境づくりを働き かける。また、毎年11月を推進月間とし、ワーク・ ライフ・バランスの意義や必要性を企業等事業者や 市民に周知する。
181	有資格業者の登録 における社会的責 任・社会貢献の評 価 <small>技術管理局・契約制度課</small>	地元企業のワーク・ライフ・バランス推進等の取り 組みを積極的に評価するため、入札参加資格業者の 格付における主観点の評価項目の一つとして「子育て 支援・男女共同参画」を設け、要件を満たす場合に 加点する。

柱② 男性の家事・育児への参画促進

No	取り組み名 <small>担当課</small>	概要
2 再掲	両親学級等の実施 <small>〈すくすく子育て支援事業〉 子ども家庭局・子育て支援課</small>	夫婦が協力して出産・育児に取り組む大切さを学 ぶため、沐浴や妊婦疑似体験等の実習を取り入れた 両親教室を開催する。土・日曜日など父親も参加しや すい日に行う。
182	男性の家事・育児 参画促進 <small>総務局・男女共同参画推進課</small>	家族を構成する男女が共に協力しながら、家庭で の責任を果たしていくため、男性が仕事だけでなく、 子育て等とともに参画し、家庭等において積極的に 役割を果たせるよう支援する。 ○男女共同参画センター・ムーブ等での男性向け 家事・子育て関連講座
183	地域における男女 共同参画推進啓発 事業 <small>総務局・男女共同参画推進課</small>	地域における男女共同参画の推進を図るため、地 域で活動している団体・グループ等と協働し、市民や 若い世代に向けた広報啓発活動に取り組む。 ○男女共同参画フォーラム in 北九州 ○男女共同参画に係る広報啓発事業
184	父親になる人への 情報発信 <small>子ども家庭局・子育て支援課</small>	子育ては、一人一人の子どもの成長に寄り添うま たとなない機会である。男性に育児をより楽しんで もらうため、妊娠、出産、そして子育てに関する情報 を父親の目線で発信する。

185	男 2 代の子育て講座 子ども家庭局・総務企画課	1 歳未満および 1 年以内に誕生予定の子の父親または祖父を対象に、助産師や看護師、子育て支援関係者を講師に迎え、育児に必要な実習を交えた体験型講座を実施し、男性が子育てに参画することの意義や効果を伝える。また、講座終了後には「パパシエ」「ソフリエ」の認定証を授与する。
-----	-----------------------------	---

柱③ 結婚・妊娠・出産を希望する方への支援

No	取り組み名 担当課	概要
186	結婚を希望する若者への支援 子ども家庭局・青少年課	若者サイトなどを活用し情報発信しながら、結婚や家族を持つことについて、考えるきっかけづくりに取り組む。
9 再掲	不妊に悩む方への特定治療支援事業及び不妊等専門相談 子ども家庭局・子育て支援課	不妊に悩む夫婦が、経済的理由で不妊治療を断念することがないように、医療費が高額な特定不妊治療に要する費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図る。専門相談窓口を設置し、不妊治療、家庭・仕事との両立などさまざまな相談に応じることで、心身の悩みを軽減する。さらに、アプリケーションソフトウェア等を活用し、妊娠を希望する市民に、妊娠や不妊に関する知識の普及及び啓発等に努める。

(参考データ)

○ 仕事と生活の調和が取れていると思う人の割合

区分		調和がとれている	どちらかという調和がとれている	どちらかという調和がとれていない	調和がとれていない	わからない	無回答
就学前の保護者 回答者数 H25:1,453人 H30:1,559人	平成25年度	4.7%	28.8%	22.8%	19.3%	22.8%	1.4%
	平成30年度	6.3%	35.6%	22.6%	17.7%	15.7%	2.1%
小学生の保護者 回答者数 H25:1,373人 H30:1,493人	平成25年度	8.6%	38.2%	21.0%	15.9%	14.6%	1.7%
	平成30年度	9.9%	41.7%	21.1%	13.0%	12.0%	2.3%
中学・高校生の保護者 回答者数 H25:1,086人 H30:1,396人	平成25年度	8.5%	36.3%	18.0%	14.3%	12.1%	10.9%
	平成30年度	8.0%	40.9%	19.2%	11.3%	8.2%	12.3%

資料：北九州市 子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査

○ 子育てと仕事を両立させる上で大変だと感じること（抜粋）

【母親】

区分	内容	平成25年度	平成30年度
就学前 回答者数 H30:1,392人 H25:1,079人	1位 時間の余裕がない	—	61.9%
	2位 子どもが病気のとときに休みづらい	—	49.7%
	3位 子どもと接する時間が少ない	42.1%	42.0%
	参考 H25:1位 自分が病気・けがをした時や、子どもが急に病気になった時に代わりに面倒をみる人がいない	48.1%	41.9%
	参考 H25:3位 急な残業が入ってしまう	30.2%	23.4%
小学生 回答者数 H30:1,064人 H25:886人	1位 時間の余裕がない	—	49.2%
	2位 子どもが病気のとときに休みづらい	—	46.2%
	3位 自分が病気・けがをした時や、子どもが急に病気になった時に代わりに面倒をみる人がいない	41.8%	40.7%
	参考 H25:2位 子どもと接する時間が少ない	36.9%	35.2%
	参考 H25:3位 急な残業が入ってしまう	26.5%	25.1%
中学・高校生 回答者数 H30:1,088人 H25:780人	1位 時間の余裕がない	—	48.0%
	2位 子どもが病気のとときに休みづらい	—	34.9%
	3位 自分が病気・けがをした時や、子どもが急に病気になった時に代わりに面倒をみる人がいない	39.0%	30.8%
	参考 H25:2位 急な残業が入ってしまう	27.6%	19.6%
	参考 H25:3位 子どもと接する時間が少ない	22.9%	19.6%

資料：北九州市 子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査

注：順位は、平成30年度調査に基づく

注：複数回答

【父親】

区分	内容	平成25年度	平成30年度
就学前 回答者数 H30:1,392人 H25:1,910人	1位 子どもと接する時間が少ない	50.2%	52.2%
	2位 急な残業が入ってしまう	42.9%	49.5%
	3位 時間の余裕がない	—	39.8%
	参考 H25:3位 職場で、仕事と家庭の両立支援制度が利用できない	16.4%	20.7%
小学生 回答者数 H30:1,064人 H25:1,151人	1位 子どもと接する時間が少ない	47.7%	47.4%
	2位 急な残業が入ってしまう	39.4%	40.3%
	3位 時間の余裕がない	—	38.6%
	参考 H25:3位 職場で、仕事と家庭の両立支援制度が利用できない	14.2%	12.8%
中学・ 高校生 回答者数 H30:1,188人 H25:855人	1位 子どもと接する時間が少ない	39.6%	36.9%
	2位 時間の余裕がない	—	34.4%
	3位 急な残業が入ってしまう	30.9%	32.8%
	参考 H25:3位 自分が病気・けがをした時や、子どもが急に病気になった時に代わりに面倒をみる人がいない	9.2%	8.8%

資料：北九州市 子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査

注：順位は、平成30年度調査に基づく

注：複数回答

○ 母親の就労率

区分		平成25年度	平成30年度
就学前の母親	フルタイム	26.5%	31.8%
	パート	24.7%	28.4%
	計	51.2%	60.2%
小学生の母親	フルタイム	29.1%	31.6%
	パート	35.4%	39.6%
	計	64.5%	71.2%

資料：北九州市 子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査

○ 父親が家事・育児をしている割合

区分		平成25年度	平成30年度
就学前の父親	家事	43.2%	42.8%
	育児	76.9%	79.0%
小学生の父親	家事	38.1%	36.9%
	育児	63.0%	66.0%

資料：北九州市 子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査

○ 主に子育て（教育を含む）をしている人の割合

区分		平成25年度	平成30年度
就学前	父母ともに	56.4%	46.7%
	主に母親	41.9%	51.9%
	主に父親	0.4%	0.3%
小学生	父母ともに	59.7%	51.5%
	主に母親	36.6%	45.1%
	主に父親	0.3%	0.8%

資料：北九州市 子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査

○ 特定不妊治療の助成制度を知っている人の割合（調査対象：18歳～39歳）

区分	言葉も内容も知っている	言葉を聞いたことはあるが、内容は知らない	言葉も内容も知らない	無回答
回答者数 864人	11.3%	33.6%	50.8%	4.3%

資料：北九州市 子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査（平成30年度）

○ 現在、結婚していない人の結婚に対する意識（調査対象：18歳～39歳）

区分	いずれは結婚したい	適当な人が現れれば結婚したい	結婚するつもりはない	わからない	無回答
平成25年度 回答者数 386人	54.5%	26.7%	7.5%	10.1%	1.3%

区分	できるだけ早く結婚したい	いずれは結婚したい	結婚するつもりはない	わからない	無回答
平成30年度 回答者数 408人	18.6%	51.2%	10.3%	16.7%	3.2%

資料：北九州市 子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査

○ 現在、結婚していない人の独身でいる理由（抜粋）（調査対象：18歳～39歳）

区分	内容		平成25年度	平成30年度
回答者数 H30:408人 H25:386人	1位	趣味や娯楽を楽しみたい	52.4%	65.4%
	2位	時間やお金を自由に使いたい	55.2%	64.7%
	3位	まだ結婚したい相手にめぐり会っていない	54.9%	58.1%
	4位	異性と出会う場や、交際する機会がない	49.2%	57.1%
	5位	独身の自由や気楽さを失いたくない	48.2%	56.1%

資料：北九州市 子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査

注：順位は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計割合について、平成30年度調査に基づく

注：複数回答

○ 今後、子どもをほしいと思っているか（調査対象：18歳～39歳）

区分	ほしいと 思っている	迷っている	ほしいと 思わない	無回答
平成25年度 回答者数 832人	58.1%	14.9%	25.2%	1.8%
平成30年度 回答者数 864人	53.2%	19.2%	25.8%	1.7%

資料：北九州市 子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査

○ 理想的な子どもの数（調査対象：18歳～39歳）

区分	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
平成25年度 回答者数 483人	1.9%	49.9%	40.4%	3.7%	1.4%	2.7%
平成30年度 回答者数 460人	2.2%	55.0%	38.0%	2.6%	1.5%	0.7%

資料：北九州市 子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査

○ 実際に持とうと思う子どもの数（調査対象：18歳～39歳）

区分	1人	2人	3人	4人	5人以上	0人	無回答
平成25年度 回答者数 483人	5.3%	34.7%	14.4%	0.6%	0.4%	1.1%	43.5%
平成30年度 回答者数 460人	9.8%	61.5%	23.0%	1.5%	0.7%	2.0%	1.5%

資料：北九州市 子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査

○ 実際に持とうと思う子どもの数が理想よりも少ない理由（抜粋）

区分	内容	平成25年度	平成30年度
回答者数 H30:125人 H25:147人	1位 子育てや教育にお金がかかりすぎるから	68.0%	71.2%
	2位 育児の心理的、肉体的負担が大きいため	23.1%	34.4%
	3位 年齢上の理由から	42.2%	32.0%

資料：北九州市 子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査

注：順位は、平成30年度調査に基づく

注：複数回答